

# NPO法人 こども見守り隊 (垂井町)

青パトによる毎日の防犯巡回のほか、連れ去り防止の寸劇や防犯カルタの作成などによる啓発活動にも積極的に取り組まれている垂井町のNPO法人「こども見守り隊」の活動をご紹介します。

## ■結成年月

平成20年3月(平成20年5月 NPO法人格取得)

## ■活動人数

93人(男性74人、女性19人)

## <受賞実績>

平成21年 県防協表彰「功劳ボランティア団体賞」

平成24年 県知事表彰「岐阜県安全・安心まちづくり賞」

平成25年 文部科学大臣表彰

「学校安全ボランティア活動奨励賞」



▼代表理事の渡邊直文さんにお伺いしました。

## 【活動を始めたきっかけ】

垂井町第1号のNPO法人をなんとか自分たちで・・・と仲間を集め、平成18年3月にNPO法人「泉京・垂井」を誕生させました。平成20年3月には同法人から「地域安全・子どもの安全」の事業を引き継いで第2のNPO法人「こども見守り隊」を設立し、現在7年目の活動に入っています。

## 【主な活動について】

### ①学校通学路の防犯巡回

青パト2台(+予備1台)を保有し、会員93名による日々の下校時の学童の見守り活動を行っています。(平成25年度:年間稼働日数244日、走行距離17,928km)

### ②啓発活動

会員有志の寸劇団「百日紅(さるすべり)」による「連れ去り防止劇」と「振り込め詐欺防止劇」、手作り大型カルタによる啓発活動、年金振込日のチラシ配り、「こども110番の家」駆け込み訓練、「通学路こども110番の家」の点検を兼ねての「見守り隊健康ウォーキング」、会員有志による手作りグッズ『組紐「青パトプラ板つきストラップ」、風車、花の種(フウセンカズラ、ベニバナ、マリーゴールド)』シリーズ、パステル画などによるイベント啓発や、町内の各種祭り(ふれあい垂井ピア、中山道垂井宿祭り、文化祭)への出展を行っています。



③安全安心まちづくり研修会、防犯講習会、こども安全会議など、例会の開催を継続しています。

④相川清掃活動、ふれあい垂井ピアフェスタスタンプラリーや、ふわの子グルーミーず、不破地区防犯協会などのボランティア活動に参画しています。

⑤「旬なホームページ」づくりを心がけ、「青パト・垂井」と打ち込めば、最初にページが出て来る露出度ナンバー1を目指しています。

### 【活動において工夫している点】

- ・会員間の絆づくりを大切にし、「会員相互研修会」にて発表会を行っています。
- ・「青パト」独自の特権意識を排除し、年2回の会員向け交通教室、例月の「青パト証」更新講習会にて、垂井警察署(生活安全課)との協働による自己研さんを奨励しています。
- ・全会員が顔写真入りハート型看板をどこでも掲げて、いつも全会員が参画しているという気運づくりに心がけています。
- ・スローガン「平成26年度 豊かなチーム感をみんなで味わいましょう」を常に掲示するようにしています。
- ・「青パト」車内掲示板の活用を逐次工夫しています。例えば、不審者出没の一報を受けたら、即時に当日又は翌日のパトロール会員に重点巡回をお願いしています。
- ・担当ごとの乗務スケジュールは、2か月前通知(案)と1か月前通知(決定)の最低2回は会員にお知らせしていますが、それでも人は生身ですし、冠婚葬祭もあります。そのため、「ドタキャン大歓迎」を掲げ、誰かが代行できるという安心感をみんなが共有し、会員すべての体調管理最優先主義をモットーにしています。また、熱中症予防に、乗務時間中(1回当たり平均2.5時間)の水分補給の徹底を心がけています。
- ・青パト巡回時の遵守事項として、助手席安全指示(バック時は必ず下りて誘導)の励行、時速40キロ以下走行の厳守及び始業・終業点検の励行(特に車止めの励行)を促しています。



### 【活動を続けていて良かったこと】

子どもとの「笑顔で挨拶」の輪づくりに触れられる喜び、高齢者会員自身の居場所づくり、地域全体への感謝の出会いの広がりなど、多くの得難いものを実感できていることです。

### 【これからの目標・課題】

「垂井町の安全安心ステーションづくり」を目指しながら、世代交代をどのようにして実現するかが大きな課題です。